

産科医療補償制度 第 84 回原因分析委員会 議事要旨

日 時 : 平成 28 年 11 月 2 日 (水) 17 時 00 分～19 時 15 分

場 所 : 公益財団法人日本医療機能評価機構 会議室

出席者(委員) : 石川浩史、茨聡、岡井崇、北田淳子、佐藤昌司、下屋浩一郎、
鈴木利廣、関博之、関沢明彦、高橋恒男、高田昌代、
前田津紀夫、宮澤潤、村越毅、吉田幸洋 (敬称略)

議事概要 :

1) 原因分析委員会における報告書の確認・承認状況について

○平成 28 年 1 月の原因分析委員会における審議体制変更後の原因分析報告書の承認件数が 9 月末で 272 件、制度発足以降の原因分析報告書の累計承認件数が 1,129 件となったこと等が報告された。

2) 患者側有識者委員の体制について

○平成 28 年 7 月から第七部会の審議が開始され、毎月 7 つの部会審議が行われる中、原因分析委員会の 2 名の患者側有識者委員と連携し、部会審議に参加し意見具申を行なう専門委員(患者側有識者)が新たに 1 名配置されることが報告された。

3) 搬送先 NICU に対する対応について

○本制度の当事者ではない新生児搬送先の NICU に対する医学的評価について、原因分析委員会で以前に整理したとおり、原則として医学的評価の対象としないことなどが再確認された。

4) 原因分析報告書全文版(マスキング版)の開示対応状況について

○平成 27 年 11 月の開示方法の変更以降平成 28 年 10 月末までに、4 件の原因分析報告書全文版(マスキング版)の利用申請があり、延べ 94 事例の報告書について開示が行われたことが報告された。

5) 部会審議における確認事項等

○前回の原因分析委員会以降、原因分析委員会部会から、原因分析の質および均質性を維持するために、原因分析委員会としての考え方を整理して欲しいと要望があった事項について、考え方を整理した。

6) 再発防止委員会からの依頼事項

○「再発防止に関する報告書」の取纏めにおいて必要なデータを原因分析報告書から適切に抽出できるようにするため、再発防止委員会から原因分析委員会に対し提示された依頼事項について、原因分析委員会としての対応を審議した。

以上